

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成26年度第8回 理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 1 月 16 日（金曜日）14：45-16：45

開催場所：神戸ポートピアホテル南館地下 1 階 ルビー

出席した理事：持田 讓治（理事長）、田口 敏彦（副理事長）、紺野 慎一（専務理事）、吉田 宗人（専務理事）、小森 博達（常務理事）、山崎 正志（常務理事）、井口 哲弘、岩崎 幹季、竹下 克志、根尾 昌志、橋本 友幸、長谷川 徹、波呂 浩孝、平林 茂、平泉 裕、松山 幸弘

出席した監事：小西 宏昭、松永 俊二

以上、理事 16 名、監事 2 名

〔議事の経過の要領及びその結果〕

持田讓治理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し直ちに議事に入った。

決議事項

1. 名誉会員推薦候補について

田口副理事長が岐阜大学の清水克時先生を推挙し、一同審議の結果、全会一致で推薦が決定した。

2. 用語事典の配布について

小森理事が、5月の日本整形外科学会（以下、日整会）総会での販売に間に合うように用語事典の作成を進めていると発言した。

一同検討の結果、用語事典の会員への無料配布が承認された。

3. 指導医制度委員会より平成 26 年度指導医審査結果の件など

橋本理事が、指導医制度委員会からの報告事項として以下の報告をした。

平成 27 年度の新規申請期間については、昨年どおり 9 月 1 日～9 月末としたい。

評議員の評価依頼について「評価を依頼する評議員へは申請者が直接連絡する」としたい。

平成 27 年度の継続（更新）申請者は、審査会議は一日かけて行う。また今回から新規申請者も「医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位」が必須となることについて予告を行う。一同検討し、承認した。

さらに、平成 26 年度の指導医審査結果新規（94 名）・継続（69 名）・猶予申請者（2 名）の合格が承認された。

4. 教育研修委員会 第 12 回教育研修コースの決算報告・

来年第 13 回教育研修のコース

竹下理事より、第 12 回教育研修コースについて概要と決算報告がなされた。一同検討の結果、承認した。

5. 10-11 月の入退会の件

事前審議の結果が示され、承認された。

6. 診断評価等基準委員会より委員追加の件

紺野理事が、すでに E 理事会でも審議し承認された、診断評価等基準委員会への獨協大の種市先生の委員またはアドバイザー就任は、ご就任いただく必要がなくなったとして、議題を取り下げた。

7. 前回理事会以降の E 理事会結果資料

小森理事が、前回理事会以降の本日までに開催された E 理事会の結果資料を提示した。E 理事会の結果を確認し、一同承認した。

審議・報告事項

1. 手術合併症調査報告

井口理事が、安全医療推進委員会で腰部脊柱管狭窄症についてまとめ、雑誌 Spine に投稿予定であることを報告した。

2. 倫理委員会より XLIF、OLIF 手術調査に関する報告

長谷川理事が、前回までの倫理委員会の議事録を説明し、昨日の委員会内容について説明をした。

3. 新技術評価検証委員会から XLIF、OLIF 全例登録に関して

岩崎理事がすでに前回の理事会でも査収している「XLIF、OLIF 症例登録調査票」について、倫理委員会に審査を依頼しており、予定していた調査票のいくつかの部分を修正することになったと、倫理委員会にも所属している川上紀明委員長から報告を受けてい

ると発言した。

まずは後ろ向き調査を行うことになった。新技術評価検証委員会にて各施設や会員へ送付する文書を作成し、持田理事長と小森理事で査収することになった。

4. 第 47 回学術集会会長選出について

持田理事長が、2018 年の第 47 回学術集会会長には、大阪市立大学の中村博亮先生が立候補したことを報告した。

5. COI 委員会から委員会細則、利益相反規程等の件

小森理事が、JSSR の COI 規定について、日整会のものを下敷きに申告書・委員会会則案・事業活動の利益相反に関する指針およびその細則案を作成したと報告した。

6. JSR 編集委員会からオンラインに関して経過報告

平林理事が、JSR のオンライン化が今月から本稼動すると説明し、12 月 1 日まで実施した紙媒体学会誌要不要調査では 127 名のみ不要と回答したと報告した。

7. 学術集会プログラム等検討委員会からの報告

根尾理事が、第 44 回学術集会について登録演題数が 1509 件となり例年よりも多かったことまた、全体の採択率は例年通り 70%としたが、基礎の演題も 10%以上あったことを報告した。

8. 慢性腰痛プロジェクトの進行について

松山理事が、昨日行われたプロジェクト委員会の議事録を示し、慢性腰痛プロジェクトで懸案だった登録数が、前回委員会後インセンティブをつけた効果もあり増加してきたことや、一部北陸地域でまったく登録が進んでいない現状などを報告した。

9. その他

持田理事長が、日整会の第 89 回総会から資料 8 のような、毎年のシンポジウム・パネルディスカッション案の提出について依頼があったと説明した。

松山理事が、前回理事会でも検討した SAS 参加ファカルティーへの金銭的援助について、JSSR からは会長（中村博亮チェアマン）に 30 万円、指名ファカルティー約 10 名

に1名につき20万円とする案を提示した。特に異論なく、承認された。

次回理事会は3月20日金曜日午後(15:00くらい) 東京駅付近を予定している。

以上

平成27年1月16日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監 事 小 西 宏 昭

監 事 松 永 俊 二